

株式会社久保農園 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2026年2月6日

株式会社北洋銀行
旭川中央支店

1. 基本情報

企業名	株式会社久保農園	
代表者名	久保 昌義	
所在地	・農園 北海道上川郡比布町北2線11号 ・事務所 北海道上川郡比布町緑町3-8-21	
ホームページ	https://www.kubofarm-hokkaido.com	
資本金	100万円	
従業員	4名(2026年1月現在:正社員2名、パート2名)	
業種	農業	
事業内容	・ゆめぴりか、おぼろづき、ななつぼしを中心とした米の栽培 ・その他栽培品目:にんにく、とうきび、じゃがいも、小豆、かぼちゃ	
沿革	1970年	久保農園 創業
	2005年	現代表である、久保昌義が事業引継
	2021年	株式会社 久保農園設立

2. 経営理念

経営理念

【安全・安心・おいしさの追求】

久保農園は低農薬栽培や自然環境を活かした丁寧な農業により、常に安全で安心できる農産物を生産し、お客様に「おいしい」と喜ばれる品質を届けることで、食卓を笑顔で満たすことを目指している。

豊かな北海道の大地と水に感謝し、自然環境を大切にしながら、持続可能な農業を実践。

比布町をはじめ、道内外の人々とつながり、地域の「食」と「暮らし」を支える存在であり続け、農業で地域を元気にし地域社会の発展にも貢献していく。



3. 事業概要

■ 久保農園で栽培されているお米



出所: 久保農園 提供資料

久保農園は、北海道の中央部・上川盆地にある比布町で米をメインに作付している。比布町の中心産業は農業であり、「ゆめぴりか」発祥の地である。久保農園では「ゆめぴりか」、「おぼろづき」、「ななつぼし」を中心とした米の栽培を行っており、大雪山の雪解け清水に恵まれた肥沃な大地で、低農薬で安全・安心な美味しいお米づくりを目指している。その他には、にんにく、とうきび、じゃがいも、小豆、かぼちゃの栽培も行っている。

■ 北海道比布町産 元気にんにく



▲ HP より産地直送にて販売中

出所: 久保農園 提供資料

大雪山の恩恵をうけ、冬は雪の下で育てることで、甘味とコクがある安心・安全で自慢のにんにくである「元気にんにく」の生産も手掛ける。にんにくは土がつめたいほど糖度が高まるのが特徴であり、寒暖の差がある北海道だからこそ、じっくりと美味しく育つ。比布町「大熊養鶏場」のこだわりのたい肥を使用し、農薬は極力使用していないのが特徴である。

■ 自動販売機



久保農園では、比布町内の「ばらえていきっちゃん紙風船敷地内」にて、自動販売機による米や新鮮野菜の販売を行っている。

新米(ゆめぴりか・ななつぼし 各真空パック)、にんにく(白・黒)、かぼちゃ、じゃがいも、小豆、ぴっぷ小ねぎ醤油などを取り揃え、地域に根ざした商品として、地元の方々から高い評価を得ている。

出所: 久保農園 提供資料

■ 農機



トラクター等による土壌への負担を最小限に抑えるため、クローラータイプもしくは極力軽量の機械を使用。緑肥作物を活用した土づくりを行い、土中への自然な窒素呼吸を促進している。

また、ローカル肥料に加えてスタブルカルチやプラウの併用により、土壌環境の改善に取り組んでいる。さらにICT技術を早期に導入し、作業の効率化を図ることで、農業資材の使用削減を意識した経営を行っている。

出所: 久保農園 提供資料

■ 北海道エコファーマー認定



エコファーマーとは、土づくりと化学肥料・農薬の使用低減を一体的に行う「環境にやさしい農業」の実践者の愛称国の法律(持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律)に基づき、都道府県知事が認定する制度である。当社では、導入指針に基づく生産方式を実践する農業者として、北海道エコファーマー認定を取得している。

出所: 久保農園 提供資料

出所: 北海道庁 エコファーマー制度の概要

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/clean/ecofarmer.html>

4. サステナビリティ目標

久保農園の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、久保農園の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、久保農園のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重要課題	脱炭素社会への貢献
目標・KPI	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連するSDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重要課題	①人的資本経営の推進 ②ワークライフバランスの充実
目標・KPI	① 役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。 ② 正社員の年間労働時間を 1,923 時間以下にする。
関連するSDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。